

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第5057563号
(P5057563)

(45) 発行日 平成24年10月24日 (2012.10.24)

(24) 登録日 平成24年8月10日 (2012.8.10)

(51) Int.Cl.

F I

G O 6 F 3/048 (2006.01)
 G O 6 F 3/14 (2006.01)
 G O 6 F 12/00 (2006.01)
 H O 4 N 5/91 (2006.01)

G O 6 F 3/048 6 5 6 A
 G O 6 F 3/14 3 6 0 A
 G O 6 F 12/00 5 1 5 B
 G O 6 F 12/00 5 2 0 E
 H O 4 N 5/91 Z

請求項の数 10 (全 15 頁)

(21) 出願番号 特願2007-27370 (P2007-27370)
 (22) 出願日 平成19年2月6日 (2007.2.6)
 (65) 公開番号 特開2008-192013 (P2008-192013A)
 (43) 公開日 平成20年8月21日 (2008.8.21)
 審査請求日 平成22年2月2日 (2010.2.2)

(73) 特許権者 000001007
 キヤノン株式会社
 東京都大田区下丸子3丁目30番2号
 (74) 代理人 100076428
 弁理士 大塚 康德
 (74) 代理人 100112508
 弁理士 高柳 司郎
 (74) 代理人 100115071
 弁理士 大塚 康弘
 (74) 代理人 100116894
 弁理士 木村 秀二
 (72) 発明者 菊地 徹
 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キ
 ヤノン株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 表示画像制御装置及びその制御方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のコンテンツを各コンテンツに付与され且つ複数の属性種別に分類される属性情報に基づいて表示させる表示画像制御装置の制御方法であって、

第1の記憶制御手段が、第1の属性種別に分類される属性情報が並べられ且つ各並び順が互いに異なる複数の並び順を第1の記憶手段に記憶させる第1の記憶制御工程と、

第2の記憶制御手段が、第2の属性種別に分類される属性情報と前記第1の記憶手段に記憶させた前記複数の並び順の1つとを関連付ける関連付け情報を第2の記憶手段に記憶させる第2の記憶制御工程と、

表示制御手段が、前記複数のコンテンツを注目コンテンツに基づいて表示制御する表示制御工程と、

生成手段が、前記表示制御工程において前記複数のコンテンツが表示されている状態で、並び順を変更する際に、前記注目コンテンツに付与され且つ前記第2の属性種別に分類される属性情報と、前記第2の記憶手段に記憶させた関連付け情報とに基づいて決定される並び順の1つに従って前記複数のコンテンツの表示画面を生成する生成工程と、

を有することを特徴とする表示画像制御装置の制御方法。

【請求項 2】

前記生成工程で生成した前記複数のコンテンツの表示画面を表示手段に表示させる表示工程を更に有することを特徴とする請求項1に記載の表示画像制御装置の制御方法。

【請求項 3】

10

20

前記第 1 の属性種別に分類される属性情報をグループ化し、グループ化された属性情報の前記複数の並び順を前記第 1 の記憶手段に記憶させることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の表示画像制御装置の制御方法。

【請求項 4】

前記第 2 の属性種別に分類される属性情報をグループ化し、グループ化された属性情報と前記第 1 の記憶手段に記憶させた前記複数の並び順の 1 つとを関連付ける関連付け情報を前記第 2 の記憶手段に記憶させることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の表示画像制御装置の制御方法。

【請求項 5】

前記複数のコンテンツの表示画面から任意のコンテンツをユーザに選択させる選択工程を更に有することを特徴とする請求項 2 に記載の表示画像制御装置の制御方法。

10

【請求項 6】

前記選択工程では、前記複数のコンテンツの表示画面から選択させる条件として前記第 1 の属性種別に分類される属性情報を選択させることを特徴とする請求項 5 に記載の表示画像制御装置の制御方法。

【請求項 7】

前記複数のコンテンツの表示画面の状態が変更された後に、該表示画面の状態を変更させるための操作が一定時間行われなかった場合、前記生成工程で前記複数のコンテンツの表示画面を生成することを特徴とする請求項 1 に記載の表示画像制御装置の制御方法。

【請求項 8】

20

複数のコンテンツを各コンテンツに付与され且つ複数の属性種別に分類される属性情報に基づいて表示させる表示画像制御装置であって、

第 1 の属性種別に分類される属性情報が並べられ且つ各並び順が互いに異なる複数の並び順を第 1 の記憶手段に記憶させる第 1 の記憶制御手段と、

第 2 の属性種別に分類される属性情報と前記第 1 の記憶手段に記憶させた前記複数の並び順の 1 つとを関連付ける関連付け情報を第 2 の記憶手段に記憶させる第 2 の記憶制御手段と、

前記複数のコンテンツを注目コンテンツに基づいて表示制御する表示制御手段と、

前記表示制御手段によって前記複数のコンテンツが表示されている状態で、並び順を変更する際に、前記注目コンテンツに付与され且つ前記第 2 の属性種別に分類される属性情報と、前記第 2 の記憶手段に記憶させた関連付け情報とに基づいて決定される並び順の 1 つに従って前記複数のコンテンツの表示画面を生成する生成手段と、

30

を有することを特徴とする表示画像制御装置。

【請求項 9】

請求項 1 に記載の表示画像制御装置の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【請求項 10】

請求項 9 に記載のプログラムを格納したコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

40

【0001】

本発明は、複数のコンテンツを各コンテンツに付与され且つ複数の属性種別に分類される属性情報に基づいて表示させる技術に関するものである。

【背景技術】

【0002】

近年、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、デジタルビデオディスクレコーダ、薄型テレビ等のデジタル家電の普及が急速に進んでいる。これらデジタル家電では、静止画、動画等のコンテンツデータが作成、或いは閲覧される。

【0003】

また、セットトップボックス（STB）等を介してパーソナルコンピュータ（PC）と

50

連携し、ＰＣで作成された文書データ、プレゼンテーションデータ、グラフィックデータ等もデジタル家電で閲覧できるようになりつつある。

【０００４】

そして、記憶メディアの大容量、低価格化に伴い、これらコンテンツの数は増加の一途を辿っている。

【０００５】

このような増大するコンテンツをユーザがデジタル家電で閲覧するためには、単純で、かつ、効率的な閲覧方法が望まれている。

【０００６】

そこで、ユーザがコンテンツを効率的に利用可能にするために、各画像に付帯した付帯情報から関連情報を抽出し、グループ化してグループ単位で画像を表示し、所望の画像を速やかに検索し易くする方法が知られている。特許文献１参照。

【０００７】

また、シソーラス辞書を用いて階層化し、階層化された分類毎に当てはまるキーワードの重要度を求め、その重要度により分類内においてソートを行い、重要度の高いものから表示を行う方法が知られている。特許文献２参照。

【０００８】

また、分類とキーワードが一致するキーワードの総数を求め、その総数によりソートを行い、登録されているキーワードの高いものから表示を行う方法が知られている。特許文献２参照。

【特許文献１】特開２００４－０１３５７５号公報

【特許文献２】特開２００４－１３９４０１号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【０００９】

しかしながら、上述の従来技術では、分類の並び順が固定的となるため、並び順が閲覧に適していない場合には、スクロールやページ送りといった移動量が増大してしまう、という問題がある。

【００１０】

例えば、画像コンテンツに被写体となる人物の情報を属性情報として付与し、人物順でソートを行うとする。「Ａ君」の「釣り旅行」の画像コンテンツを閲覧中に、釣り仲間の「Ｍ君」のコンテンツが見たい場合、人物順でソートを行い、「Ａ君」から「Ｍ君」まで移動する。ここで、単純化のために、固定的なアルファベット及び五十音順で画像コンテンツがソートされるとすると、「Ａ君」から「Ｍ君」までの間には多くの人物が存在することが予想される。

【００１１】

また、「Ａ君」の「修学旅行」の画像コンテンツを閲覧中に、学校時代の友人の「Ｓ君」のコンテンツが見たくなった場合、同様に人物順でソートを行い「Ａ君」から「Ｓ君」まで移動する。この場合も同様に、多くの移動が必要となることが予想される。

【００１２】

本発明は、任意の属性種別の属性情報を他の属性種別の属性情報の並び順に関連付けておき、その並び順に基づいて複数のコンテンツを配列して表示画面を生成することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【００１３】

本発明は、複数のコンテンツを各コンテンツに付与され且つ複数の属性種別に分類される属性情報に基づいて表示させる表示画像制御装置の制御方法であって、

第１の記憶制御手段が、第１の属性種別に分類される属性情報が並べられ且つ各並び順が互いに異なる複数の並び順を第１の記憶手段に記憶させる第１の記憶制御工程と、

第２の記憶制御手段が、第２の属性種別に分類される属性情報と前記第１の記憶手段に

10

20

30

40

50

記憶させた前記複数の並び順の１つとを関連付ける関連付け情報を第２の記憶手段に記憶させる第２の記憶制御工程と、

表示制御手段が、前記複数のコンテンツを注目コンテンツに基づいて表示制御する表示制御工程と、

生成手段が、前記表示制御工程において前記複数のコンテンツが表示されている状態で、並び順を変更する際に、前記注目コンテンツに付与され且つ前記第２の属性種別に分類される属性情報と、前記第２の記憶手段に記憶させた関連付け情報とに基づいて決定される並び順の１つに従って前記複数のコンテンツの表示画面を生成する生成工程と、

を有することを特徴とする。

【００１４】

10

また、本発明は、複数のコンテンツを各コンテンツに付与され且つ複数の属性種別に分類される属性情報に基づいて表示させる表示画像制御装置であって、

第１の属性種別に分類される属性情報が並べられ且つ各並び順が互いに異なる複数の並び順を第１の記憶手段に記憶させる第１の記憶制御手段と、

第２の属性種別に分類される属性情報と前記第１の記憶手段に記憶させた前記複数の並び順の１つとを関連付ける関連付け情報を第２の記憶手段に記憶させる第２の記憶制御手段と、

前記複数のコンテンツを注目コンテンツに基づいて表示制御する表示制御手段と、

前記表示制御手段によって前記複数のコンテンツが表示されている状態で、並び順を変更する際に、前記注目コンテンツに付与され且つ前記第２の属性種別に分類される属性情報と、前記第２の記憶手段に記憶させた関連付け情報とに基づいて決定される並び順の１つに従って前記複数のコンテンツの表示画面を生成する生成手段と、

20

を有することを特徴とする。

【発明の効果】

【００１５】

本発明によれば、任意の属性種別の属性情報を他の属性種別の属性情報の並び順に関連付けておき、その並び順に基づいて複数のコンテンツを配列して表示画面を生成することができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【００１６】

30

以下、図面を参照しながら発明を実施するための最良の形態について詳細に説明する。尚、以下の実施形態では、表示画像制御装置として、複数のコンテンツをディスプレイに表示し、ユーザが所望のコンテンツを閲覧するデータ閲覧装置を例に説明する。

【００１７】

〔第１の実施形態〕

図１は、第１の実施形態におけるデータ閲覧装置のハードウェア構成の一例を示す図である。図１に示すように、データ閲覧装置１００はＣＰＵ１０１、ＲＯＭ１０２、ＲＡＭ１０３、ディスプレイインタフェース１０４、赤外線インタフェース１０５、及びハードディスクドライブ（ＨＤＤ）１０６から構成される。

【００１８】

40

ＣＰＵ１０１は、オペレーティングシステム（以下、ＯＳ）の制御の下、後述する処理プログラムを実行すると共に、データ閲覧装置１００全体を制御する。ＲＯＭ１０２には、ＣＰＵ１０１が電源投入時に実行するプログラムや各種制御データが格納されている。ＲＡＭ１０３には、各処理プログラム、各種デバイスドライバなどが実行時に展開され、ＣＰＵ１０１によって実行される。

【００１９】

ディスプレイインタフェース１０４は、不図示のディスプレイドライバからの画面情報をディスプレイ１１０が処理可能な信号に変換し出力する。赤外線インタフェース１０５は、赤外線リモコン１２０からの赤外線信号を受信し、不図示の赤外線リモコンドライバが処理可能な情報に変換する。

50

【 0 0 2 0 】

そして、HDD 1 0 6 には、OS、本発明に係る処理プログラム、各種情報、デバイスドライバなどが記憶されている。

【 0 0 2 1 】

尚、特に断らない限り、他図を用いて説明されたものには同一の符号を付し、その説明を省略する。

【 0 0 2 2 】

図 2 は、第 1 の実施形態におけるデータ閲覧装置の機能構成の一例を示す図である。図 2 に示すように、データ閲覧装置 1 0 0 はコンテンツ情報記憶部 2 0 1、並び順情報記憶部 2 0 2、関連付け情報記憶部 2 0 3、表示画面制御部 2 0 4、コンテンツ配列読出し部 2 0 5、並び順選択部 2 0 6、及び並び順情報読出し部 2 0 7 から構成される。

10

【 0 0 2 3 】

ここで、コンテンツ情報記憶部 2 0 1、並び順情報記憶部 2 0 2、関連付け情報記憶部 2 0 3 は、それぞれ HDD 1 0 6 の記憶領域に確保され、詳細は後述するコンテンツ情報 (図 5)、並び順情報 (図 6)、関連付け情報 (図 7) を記憶する。

【 0 0 2 4 】

表示画面制御部 2 0 4 は、コンテンツ配列読出し部 2 0 5 からのコンテンツ配列 (詳細は図 8 を用いて後述する) に基づいて、図 3 に示すユーザインタフェース画面を形成し、ディスプレイ 1 1 0 に表示する。また、表示画面制御部 2 0 4 は、赤外線リモコン 1 2 0 からの操作入力を取得し、操作入力に応じてコンテンツ配列読出し部 2 0 5 を介してコンテンツ配列 (図 8) を取得し、表示画面の状態を更新する。

20

【 0 0 2 5 】

コンテンツ配列読出し部 2 0 5 は、表示画面制御部 2 0 4 からの要求に応じて、コンテンツ情報記憶部 2 0 1 のコンテンツ情報 (図 5) からコンテンツ配列 (図 8) を形成し、表示画面制御部 2 0 4 に返す。

【 0 0 2 6 】

ここで、コンテンツ配列読出し部 2 0 5 は、表示画面制御部 2 0 4 から得られた注目コンテンツのイベント属性情報に基づき、並び順選択部 2 0 6 を介して人物の並び順を識別する人物順 ID を取得する。

【 0 0 2 7 】

また、コンテンツ配列読出し部 2 0 5 は、並び順選択部 2 0 6 で選択された人物順 ID に基づき、並び順情報読出し部 2 0 7 から並び順情報 (図 6) を取得する。

30

【 0 0 2 8 】

また、コンテンツ配列読出し部 2 0 5 は、並び順情報読出し部 2 0 7 から得られた並び順情報 (図 6) に基づき、コンテンツ情報記憶部 2 0 1 よりコンテンツ情報 5 0 1 を取得し、コンテンツ配列 (図 8) を形成する。

【 0 0 2 9 】

並び順選択部 2 0 6 は、関連付け情報記憶部 2 0 3 に記憶された関連付け情報 (図 7) に基づき、コンテンツ配列読出し部 2 0 5 から指定されるイベント属性情報に対応する人物順 ID を読出し、コンテンツ配列読出し部 2 0 5 に返す。

40

【 0 0 3 0 】

並び順情報読出し部 2 0 7 は、コンテンツ配列読出し部 2 0 5 から指定された人物順 ID に対応する並び順情報 (図 6) を並び順情報記憶部 2 0 2 から読出し、コンテンツ配列読出し部 2 0 5 に返す。

【 0 0 3 1 】

図 3 は、第 1 の実施形態におけるユーザインタフェース画面の一例を示す図である。図 3 に示すように、ユーザインタフェース画面 3 0 0 には、詳細は後述するコンテンツ配列 (図 8) に基づきサムネイル 3 0 1、3 0 2、3 0 3 が配置される。

【 0 0 3 2 】

ここで、中央のサムネイル 3 0 1 は他のサムネイル 3 0 2、3 0 3 より大きいサイズで

50

表示され、このサムネイルに対応するコンテンツを注目コンテンツと呼ぶ。

【 0 0 3 3 】

3 0 4 は注目コンテンツ (サムネイル 3 0 1) の属性情報であり、この例では人物属性情報が「 A 君」、イベント属性情報が「 釣り旅行」である。3 0 5 はサムネイル 3 0 1、3 0 2 に対応するコンテンツの属性情報であり、この例では「 A 君」という人物属性情報である。3 0 6 はサムネイル 3 0 3 に対応するコンテンツの属性情報であり、この例では「 M 君」という人物属性情報である。

【 0 0 3 4 】

3 0 7、3 0 8 は横スクロールボタンであり、赤外線リモコン 1 2 0 の左右ボタンに対応し、サムネイル 3 0 1、3 0 2、3 0 3 を横スクロールさせる。3 0 9 は「人物順」ボタンであり、コンテンツを人物順に表示させるか否かを指定する。ここでは、「人物順」ボタン 3 0 9 の O N / O F F で指定を切り替えるものとする。尚、マウスなどで画面上のボタンを指示するものであっても構わない。

【 0 0 3 5 】

尚、ユーザインタフェース画面 3 0 0 は一例を示したものであり、コンテンツの配列に基づく表示であれば同様の効果が得られる。

【 0 0 3 6 】

図 4 は、第 1 の実施形態における赤外線リモコン 1 2 0 の一例を示す図である。図 4 に示す赤外線リモコン 1 2 0 は、右スクロールを指示する右ボタン 4 0 2、左スクロールを指示する左ボタン 4 0 1、人物順表示のオン / オフを切り替える人物順ボタン 4 0 3 から

【 0 0 3 7 】

尚、赤外線リモコン 1 2 0 は一例を示したものであり、配置、ボタンの名称等、これに限定されるものではない。

【 0 0 3 8 】

図 5 は、第 1 の実施形態におけるコンテンツ情報の一例を示す図である。図 5 に示すように、コンテンツ情報 5 0 1 には、コンテンツ I D と、日付、人物、及びイベントの属性種別に分類される属性情報と、コンテンツファイル名情報と、サムネイルファイル名情報とが含まれる。そして、このコンテンツ情報 5 0 1 はコンテンツ情報記憶部 2 0 1 に記憶される。

【 0 0 3 9 】

例えば、コンテンツ I D が “ photo1 ” であるコンテンツは、日付、人物、及びイベントの属性種別に分類される属性情報として “ 2006-01-15 ”、“ A 君 ”、及び “ 釣り旅行 ” を持つ。更に、コンテンツの実体となるファイルのファイル名は “ contents/photo1.jpg ”、サムネイルのファイル名は “ thumb/photo1_thumb.jpg ” となる。

【 0 0 4 0 】

尚、第 1 の実施形態のコンテンツ情報 5 0 1 は一例を示したものであり、各情報の構成や名称、値等、これに限定されるものではない。

【 0 0 4 1 】

また、コンテンツを分類する属性種別として、日付、人物、イベントを例に挙げて説明するが、他の属性種別でコンテンツを分類しても良い。更に、コンテンツをサムネイルで表示しているが、そのコンテンツを表すアイコンで表示しても良い。

【 0 0 4 2 】

図 6 は、第 1 の実施形態における並び順情報の一例を示す図である。図 6 に示すように、6 0 1 は並び順情報であり、釣り仲間である “ A 君 ”、“ M 君 ”、“ T 君 ”、... が近傍に配置されるように予め構成された人物の並び順である。この例では、人物順 I D として “ 人物順 1 ” が付与されている。6 0 2 も並び順情報であり、この例は学校の友人である “ A 君 ”、“ S 君 ”、“ T 君 ”、... が近傍に配置されるように予め構成された人物の並び順である。並び順情報 6 0 1 と同様に、人物順 I D として “ 人物順 2 ” が付与されている。そして、並び順情報 6 0 1 及び 6 0 2 は並び順情報記憶部 2 0 2 に記憶される。

【 0 0 4 3 】

尚、第 1 の実施形態の並び順情報 6 0 1 及び 6 0 2 は一例を示したものであり、近傍に配置させる条件、並び順情報の数、人物順 I D の表現方法等、これに限定されるものではない。

【 0 0 4 4 】

図 7 は、第 1 の実施形態における関連付け情報の一例を示す図である。図 7 において、7 0 1 は関連付け情報であり、関連付け条件と人物順 I D から構成される。ここで、関連付け条件の「イベント = “釣り旅行”」はイベントに分類される属性情報が「釣り旅行」を示している。また、この例では、人物順 I D が“人物順 1”である並び順情報 6 0 1 が関連付けられている。

10

【 0 0 4 5 】

尚、第 1 の実施形態の関連付け情報 7 0 1 は一例を示したものであり、これに限定されるものではない。

【 0 0 4 6 】

図 8 は、第 1 の実施形態におけるコンテンツ配列の一例を示す図である。図 8 において、8 0 1 は並び順情報 6 0 1 に基づくコンテンツ配列を示し、8 0 2 は並び順情報 6 0 2 に基づくコンテンツ配列を示している。

【 0 0 4 7 】

コンテンツ配列 8 0 1 は、並び順情報 6 0 1 の並び順“ A 君 ”、“ M 君 ”、“ T 君 ”、...、に従って“ A 君 ”のコンテンツ“ photo1 ”、“ photo2 ”、...、“ M 君 ”のコンテンツ“ photo3 ”、...を順に配列したものである。

20

【 0 0 4 8 】

また、コンテンツ配列 8 0 2 は、並び順情報 6 0 2 の並び順“ A 君 ”、“ S 君 ”、“ T 君 ”、...、に従って“ A 君 ”のコンテンツ“ photo1 ”、“ photo2 ”、...、“ S 君 ”のコンテンツ“ photo4 ”、...を順に配列したものである。

【 0 0 4 9 】

つまり、コンテンツ配列 8 0 1 は、図 3 に示すように、人物が A 君で、イベントが釣り旅行のコンテンツを注目コンテンツとして表示するためのコンテンツ配列である。また、コンテンツ配列 8 0 2 は、人物が A 君で、イベントが修学旅行（文化祭）のコンテンツを注目コンテンツとして表示するためのコンテンツ配列である。

30

【 0 0 5 0 】

尚、第 1 の実施形態のコンテンツ配列 8 0 1 及び 8 0 2 は一例を示したものであり、これに限定されるものではない。

【 0 0 5 1 】

ここで、データ閲覧装置 1 0 0 の C P U 1 0 1 が実行する表示画面制御部 2 0 4 の処理を、図 9 を用いて説明する。

【 0 0 5 2 】

図 9 は、第 1 の実施形態における表示画面制御部 2 0 4 の処理を示すフローチャートである。処理が開始されると、予め定められたコンテンツや前回の操作で注目コンテンツとして表示したコンテンツを注目コンテンツに初期設定し、人物順ソートの O N / O F F を初期値（例えば、O F F ）に設定する（ S 9 0 1 ）。次に、人物順ソートが O N か O F F かを判定し、O F F の場合（ S 9 0 2 で N o ）、コンテンツ情報 5 0 1 を日付順でソートしたコンテンツ配列を生成する（ S 9 0 3 ）。

40

【 0 0 5 3 】

一方、 S 9 0 2 で人物順ソートが O N の場合（ S 9 0 2 で Y e s ）、注目コンテンツのイベント属性情報を読み出し（ S 9 1 1 ）、関連付け情報 7 0 1 に基づきイベント属性情報に対応する人物順 I D を選択する（ S 9 1 2 ）。次に、その人物順 I D に対応する並び順情報 6 0 1 又は 6 0 2 を読み出し（ S 9 1 3 ）、その並び順情報 6 0 1 又は 6 0 2 に基づきコンテンツ情報 5 0 1 を読み出してコンテンツ配列を生成する（ S 9 1 4 ）。

【 0 0 5 4 】

50

次に、上述のＳ９０３又はＳ９１４で生成したコンテンツ配列に基づき注目コンテンツが中心となるようユーザインタフェース画面３００を構成し、ディスプレイ１１０に表示する（Ｓ９０４）。その後、赤外線リモコン１２０のボタンが操作されたのを検出すると、その操作が人物順ボタン４０３であれば（Ｓ９０５でＹｅｓ）、人物順ソートのＯＦＦ設定を変更する（Ｓ９２１）。そして、上述のＳ９０２に戻る。

【００５５】

また、Ｓ９０５で、検出した操作が人物順ボタン４０３ではなく（Ｓ９０５でＮｏ）、左ボタン４０１又は右ボタン４０２であれば（Ｓ９０６でＹｅｓ）、ボタン操作に基づいて注目コンテンツを変更し、表示画面を更新する（Ｓ９３１）。そして、人物順ソートがＯＦＦでなく、かつ、一定時間内にボタン操作がなければ（Ｓ９１０でＮｏ）、上述したＳ９１１へ進む。

10

【００５６】

一方、Ｓ９１０で、人物順ソートがＯＦＦ又はボタン操作があれば（Ｓ９１０でＹｅｓ）、上述のＳ９０５に戻る。

【００５７】

第１の実施形態によれば、注目コンテンツのイベントに関連付けた人物の並び順を選択し、コンテンツ配列を生成するため、注目コンテンツと関連性の高い人物を近傍配置した人物順の表示を容易に行うことができる。

【００５８】

また、人物順ソート表示中の左右ボタン操作によるスクロールで注目コンテンツが変更された場合には、一定時間経過した後に自動的に並べ替えを行うため、再表示操作の手間が省ける。

20

【００５９】

[第２の実施形態]

次に、図面を参照しながら本発明に係る第２の実施形態を詳細に説明する。尚、ハードウェア構成は、図１を用いて説明した第１の実施形態と同様である。また、ユーザインタフェース画面は、図３を用いて説明した第１の実施形態と同様である。また、赤外線リモコンは、図４を用いて説明した第１の実施形態と同様である。

【００６０】

また、コンテンツ情報は、図５を用いて説明した第１の実施形態と同様である。また、関連付け情報は、図７を用いて説明した第１の実施形態と同様である。また、コンテンツ配列は、図８を用いて説明した第１の実施形態と同様である。また、処理は、図９を用いて説明した第１の実施形態と同様である。

30

【００６１】

図１０は、第２の実施形態におけるデータ閲覧装置の機能構成の一例を示す図である。図１０に示すように、データ閲覧装置１００は、第１の実施形態で説明した、コンテンツ情報記憶部２０１、関連付け情報記憶部２０３、表示画面制御部２０４、コンテンツ配列読出し部２０５、並び順選択部２０６を含む。更に、並び順情報記憶部１００２、並び順情報読出し部１００７、人物グループ情報記憶部１０１０から構成される。

【００６２】

ここで、並び順情報記憶部１００２、人物グループ情報記憶部１０１０は、他の構成と同様にＨＤＤ１０６の記憶領域に確保され、詳細は後述する並び順情報（図１２）、人物グループ情報（図１１）を記憶する。

40

【００６３】

並び順情報読出し部１００７は、人物順ＩＤに対応する並び順情報１２０１又は１２０２を、並び順情報記憶部１００２から読出し、人物グループ情報１１０１～１１０６に基づき並び順情報を更新し、コンテンツ配列読出し部２０５に返す。

【００６４】

第２の実施形態では、人物毎に人物が属している人物グループをグループ化し、人物の追加や削除を容易に行えるようにしたものである。

50

【 0 0 6 5 】

図 1 1 は、第 2 の実施形態における人物グループ情報の一例を示す図である。図 1 1 において、人物グループ情報 1 1 0 1 は “ A 君 ” が人物グループ “ 釣り仲間 ”、“ 学校友人 ”、“ テニス仲間 ”、“ 家族 ”、... に属していることを示し、1 1 0 2、1 1 0 3、1 1 0 4、1 1 0 5、1 1 0 6 に関しても同様である。

【 0 0 6 6 】

尚、第 2 の実施形態の人物グループ情報 1 1 0 1 ~ 1 1 0 6 は一例を示しており、これに限定されるものではない。また、シソーラス辞書などを用いてグループ化を規定しても良い。

【 0 0 6 7 】

10

図 1 2 は、第 2 の実施形態における並び順情報の一例を示す図である。図 1 2 において、並び順情報 1 2 0 1 は、人物順 ID が “ 人物順 1 ” で、人物順の人物グループに “ 釣り仲間 ” を含むコンテンツを並べ、続いて人物グループに “ 釣り仲間 ” を含まないコンテンツを並べること示している。

【 0 0 6 8 】

また、並び順情報 1 2 0 2 は、人物順 ID が “ 人物順 2 ” で、人物順の人物グループに “ 学校友人 ” を含むコンテンツを並べ、続いて人物グループに “ 学校友人 ” を含まないコンテンツを並べること示している。

【 0 0 6 9 】

また、並び順情報 1 2 0 1、1 2 0 2 及び人物グループ情報 1 1 0 1 ~ 1 1 0 6 に基づき、第 1 の実施形態で図 6 を用いて説明したように、実際の人物の並び順情報が適宜作成される。

20

【 0 0 7 0 】

尚、第 2 の実施形態の並び順情報 1 2 0 1 及び 1 2 0 2 は一例であり、これに限定されるものではない。例えば、「人物グループに “ 釣り仲間 ” を含みかつ “ 学校友人 ” を含む」等の複合的な条件であっても良い。

【 0 0 7 1 】

第 2 の実施形態によれば、実際の人物の並び順情報が適宜作成されるため、人物の追加や削除を行っても、並び順情報記憶部 1 0 0 2 に記憶される並び順情報を変更する必要がない。

30

【 0 0 7 2 】

[第 3 の実施形態]

次に、図面を参照しながら本発明に係る第 3 の実施形態を詳細に説明する。尚、ハードウェア構成は、図 1 を用いて説明した第 1 の実施形態と同様である。また、ユーザインタフェース画面は、図 3 を用いて説明した第 1 の実施形態と同様である。また、赤外線リモコンは、図 4 を用いて説明した第 1 の実施形態と同様である。

【 0 0 7 3 】

また、コンテンツ情報は、図 5 を用いて説明した第 1 の実施形態と同様である。また、並び順情報は、図 6 を用いて説明した第 1 の実施形態と同様である。また、コンテンツ配列は、図 8 を用いて説明した第 1 の実施形態と同様である。また、処理は、図 9 を用いて説明した第 1 の実施形態と同様である。

40

【 0 0 7 4 】

図 1 3 は、第 3 の実施形態におけるデータ閲覧装置の機能構成の一例を示す図である。図 1 3 に示すように、データ閲覧装置 1 0 0 は、第 1 の実施形態で説明した、コンテンツ情報記憶部 2 0 1、並び順情報記憶部 2 0 2、表示画面制御部 2 0 4、コンテンツ配列読出し部 2 0 5、並び順情報読出し部 2 0 7 を含む。更に、関連付け情報記憶部 1 3 0 3、並び順選択部 1 3 0 6、イベントグループ情報記憶部 1 3 1 0 から構成される。

【 0 0 7 5 】

ここで、関連付け情報記憶部 1 3 0 3、イベントグループ情報記憶部 1 3 1 0 は、他の構成と同様に HDD 1 0 6 の記憶領域に確保され、詳細は後述する関連付け情報 (図 1 5

50

）、イベントグループ情報（図１４）を記憶する。

【００７６】

並び順選択部１３０６は、イベントに対応する人物順ＩＤを、イベント情報１３０１～１３０４及び関連付け情報１５０１から読出し、コンテンツ配列読出し部２０５に返す。

【００７７】

第３の実施形態では、人物が属するグループ毎にイベントをグループ化し、イベントの追加や削除を容易に行えるようにしたものである。

【００７８】

図１４は、第３の実施形態におけるイベントグループ情報の一例を示す図である。図１４において、イベントグループ情報１４０１は“釣り旅行”、“釣り大会”、...が“釣り仲間”イベントグループに属していることを示し、１４０２、１４０３、１４０４に関しても同様である。

10

【００７９】

尚、第３の実施形態のイベントグループ情報１４０１～１４０４は一例を示しており、これに限定されるものではない。

【００８０】

図１５は、第３の実施形態における関連付け情報の一例を示す図である。図１５において、関連付け情報１５０１は関連付け条件と人物ＩＤから構成される。また、“釣り仲間”イベントグループに属するイベントは“人物順１”に、“学校友人”イベントグループに属するイベントは“人物順２”に関連付けされることを示している。

20

【００８１】

尚、第３の実施形態の関連付け情報１５０１は一例を示しており、これに限定されるものではない。また、シソーラス辞書等を用いてグループ化を規定しても良い。

【００８２】

第３の実施形態によれば、イベントグループと人物グループの並び順情報とを関連付けておくので、イベントの追加や削除を行っても、関連付け情報記憶部１３０３の関連付け情報を変更する必要がない。

【００８３】

尚、本発明は複数の機器（例えば、ホストコンピュータ、インターフェース機器、リーダー、プリンタなど）から構成されるシステムに適用しても、１つの機器からなる装置（例えば、複写機、ファクシミリ装置など）に適用しても良い。

30

【００８４】

また、前述した実施形態の機能を実現するソフトウェアのプログラムコードを記録した記録媒体を、システム或いは装置に供給し、そのシステム或いは装置のコンピュータ（ＣＰＵ若しくはＭＰＵ）が記録媒体に格納されたプログラムコードを読出し実行する。これによっても、本発明の目的が達成されることは言うまでもない。

【００８５】

この場合、記録媒体から読出されたプログラムコード自体が前述した実施形態の機能を実現することになり、そのプログラムコードを記憶した記録媒体は本発明を構成することになる。

40

【００８６】

このプログラムコードを供給するための記録媒体として、例えばフレキシブルディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、ＣＤ－ＲＯＭ、ＣＤ－Ｒ、磁気テープ、不揮発性のメモリカード、ＲＯＭなどを用いることができる。

【００８７】

また、コンピュータが読出したプログラムコードを実行することにより、前述した実施形態の機能が実現されるだけでなく、次の場合も含まれることは言うまでもない。即ち、プログラムコードの指示に基づき、コンピュータ上で稼働しているＯＳ（オペレーティングシステム）などが実際の処理の一部又は全部を行い、その処理により前述した実施形態の機能が実現される場合である。

50

【 0 0 8 8 】

更に、記録媒体から読出されたプログラムコードがコンピュータに挿入された機能拡張ボードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメモリに書込む。その後、そのプログラムコードの指示に基づき、その機能拡張ボードや機能拡張ユニットに備わるCPUなどが実際の処理の一部又は全部を行い、その処理により前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 8 9 】

【図 1】第 1 の実施形態におけるデータ閲覧装置のハードウェア構成の一例を示す図である。

10

【図 2】第 1 の実施形態におけるデータ閲覧装置の機能構成の一例を示す図である。

【図 3】第 1 の実施形態におけるユーザインタフェース画面の一例を示す図である。

【図 4】第 1 の実施形態における赤外線リモコン 1 2 0 の一例を示す図である。

【図 5】第 1 の実施形態におけるコンテンツ情報の一例を示す図である。

【図 6】第 1 の実施形態における並び順情報の一例を示す図である。

【図 7】第 1 の実施形態における関連付け情報の一例を示す図である。

【図 8】第 1 の実施形態におけるコンテンツ配列の一例を示す図である。

【図 9】第 1 の実施形態における表示画面制御部 2 0 4 の処理を示すフローチャートである。

【図 1 0】第 2 の実施形態におけるデータ閲覧装置の機能構成の一例を示す図である。

20

【図 1 1】第 2 の実施形態における人物グループ情報の一例を示す図である。

【図 1 2】第 2 の実施形態における並び順情報の一例を示す図である。

【図 1 3】第 3 の実施形態におけるデータ閲覧装置の機能構成の一例を示す図である。

【図 1 4】第 3 の実施形態におけるイベントグループ情報の一例を示す図である。

【図 1 5】第 3 の実施形態における関連付け情報の一例を示す図である。

【符号の説明】

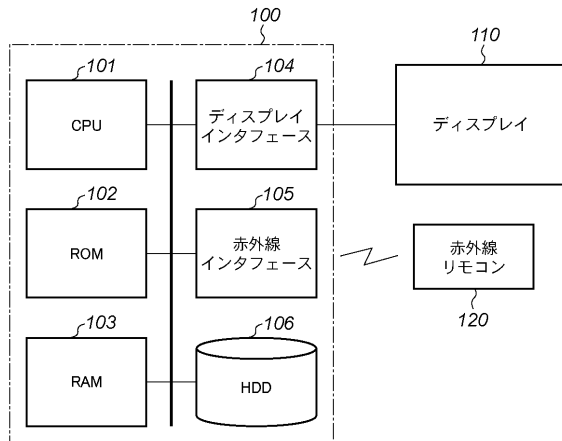
【 0 0 9 0 】

- 1 0 0 データ閲覧装置
- 1 0 1 CPU
- 1 0 2 ROM
- 1 0 3 RAM
- 1 0 4 ディスプレイインタフェース
- 1 0 5 赤外線インタフェース
- 1 0 6 ハードディスクドライブ (HDD)
- 2 0 1 コンテンツ情報記憶部
- 2 0 2 並び順情報記憶部
- 2 0 3 関連付け情報記憶部
- 2 0 4 表示画面制御部
- 2 0 5 コンテンツ配列読出し部
- 2 0 6 並び順選択部
- 2 0 7 並び順情報読出し部

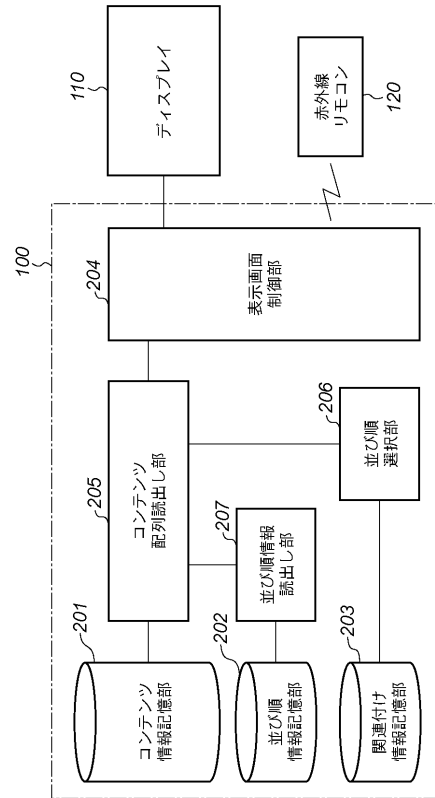
30

40

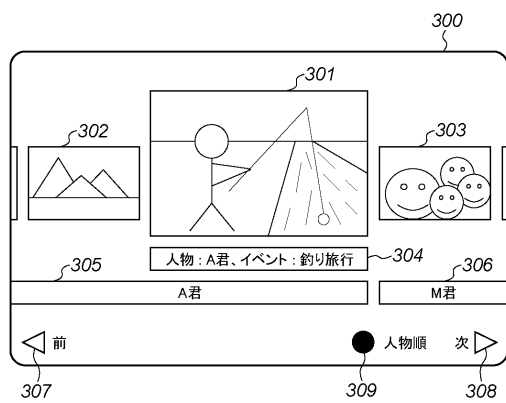
【図 1】



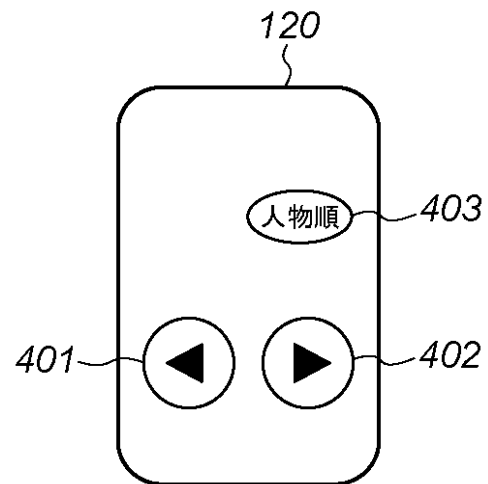
【図 2】



【図 3】



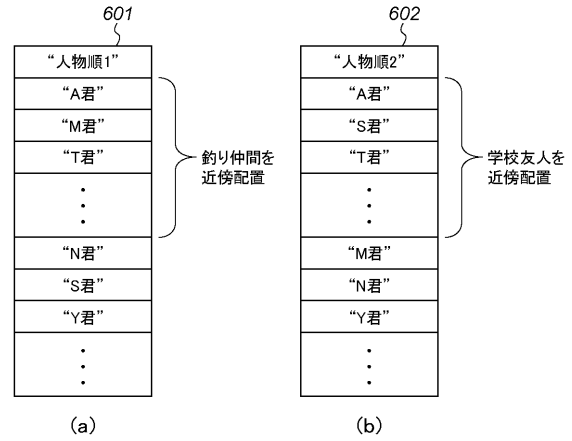
【図 4】



【図 5】

サムネイルファイル名	コンテンツファイル名	イベント	人物	日付	コンテンツID
"thumb/photo1_thumb.jpg"	"contents/photo1.jpg"	"釣り旅行"	"A君"	"2006-01-15"	"photo1"
"thumb/photo2_thumb.jpg"	"contents/photo2.jpg"	"修学旅行"	"A君"	"2006-01-10"	"photo2"
"thumb/photo3_thumb.jpg"	"contents/photo3.jpg"	"釣り大会"	"M君"	"2006-02-23"	"photo3"
"thumb/photo4_thumb.jpg"	"contents/photo4.jpg"	"文化祭"	"S君"	"2006-10-05"	"photo4"
"thumb/photo5_thumb.jpg"	"contents/photo5.jpg"	"テニス大会"	"N君"	"2006-01-10"	"photo5"
"thumb/photo6_thumb.jpg"	"contents/photo6.jpg"	"釣り旅行"	"T君"	"2006-01-15"	"photo6"
"thumb/photo7_thumb.jpg"	"contents/photo7.jpg"	"文化祭"	"T君"	"2006-10-05"	"photo7"
"thumb/photo8_thumb.jpg"	"contents/photo8.jpg"	"家族旅行"	"Y君"	"2006-02-21"	"photo8"
...

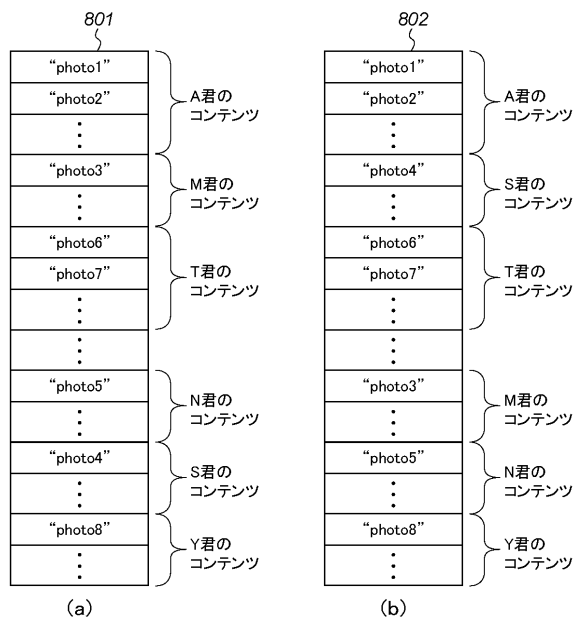
【図 6】



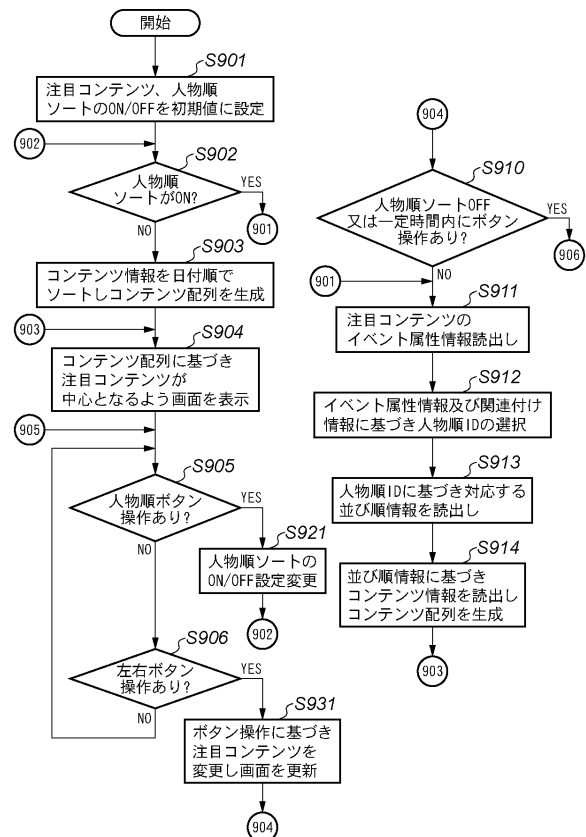
【図 7】

関連付け条件	人物順ID
イベント="釣り旅行"	"人物順1"
イベント="修学旅行"	"人物順2"
イベント="文化祭"	"人物順2"
...	...

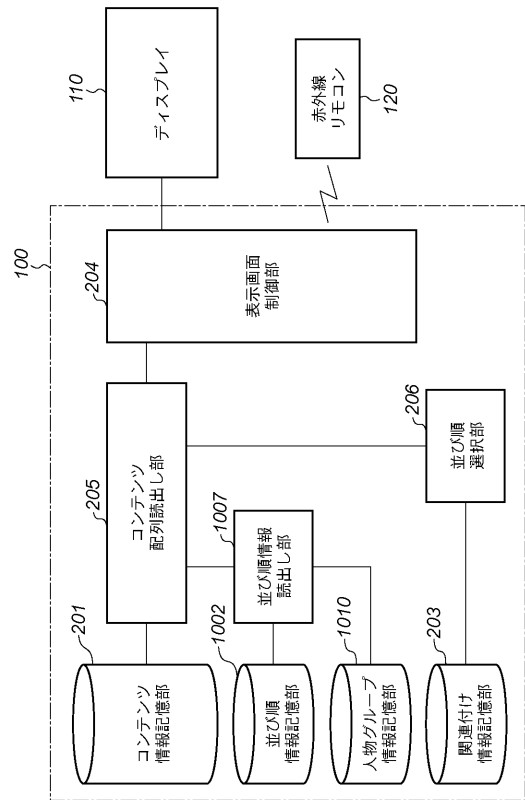
【図 8】



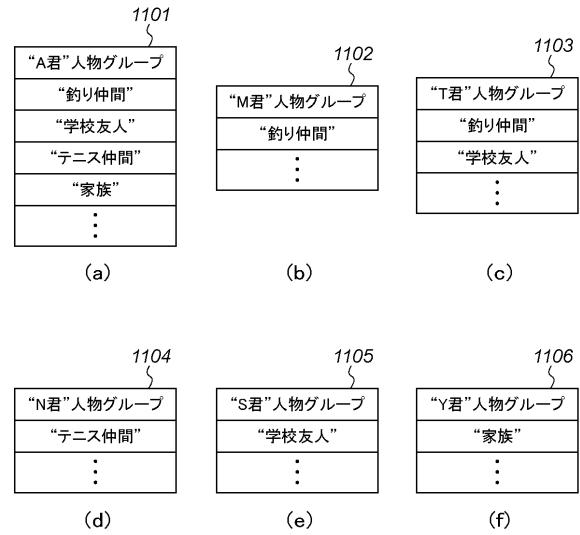
【図 9】



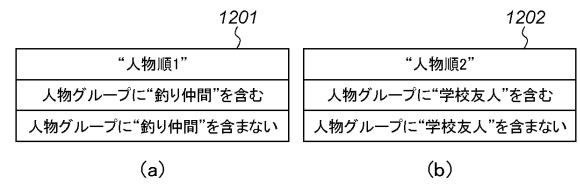
【図 10】



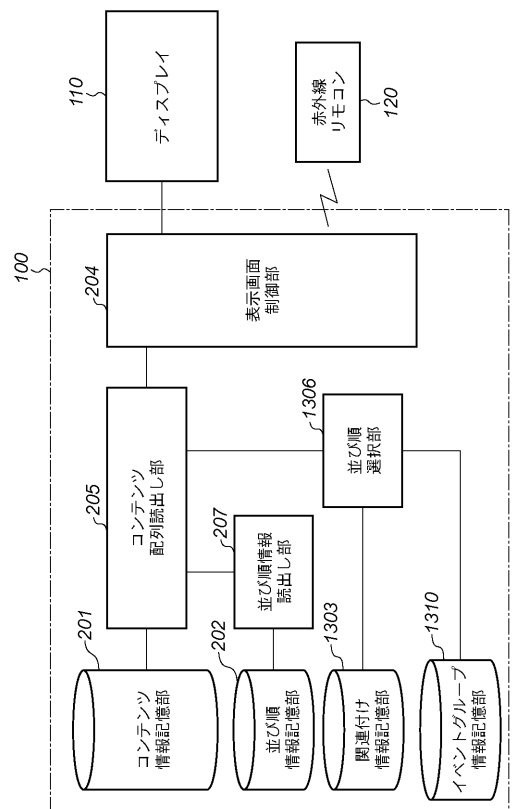
【図 11】



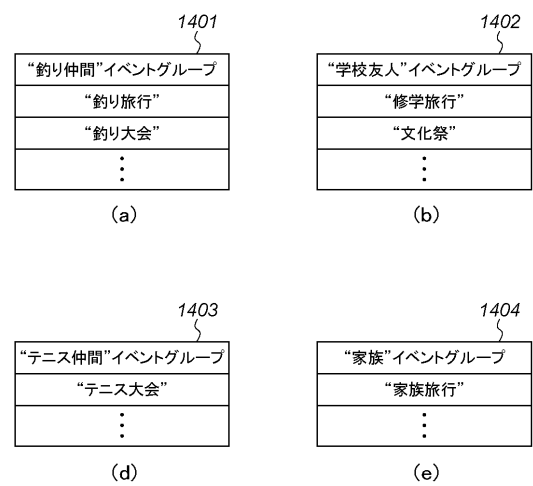
【図 12】



【図 13】



【図 14】



【図 15】

関連付け条件		人物順ID
イベントグループ=“釣り仲間”		“人物順1”
イベントグループ=“学校友人”		“人物順2”
…		…

フロントページの続き

審査官 田中 秀樹

(56)参考文献 特開2004-013575(JP,A)

特開平09-305619(JP,A)

特開2001-243232(JP,A)

特開平04-074270(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G06F 3/01、 3/048、 12/00、 17/30